

今月生まれのお友達を紹介します



おが 亜央翔ちゃん (いちば)
☆親の願い これからもみんな
といっぱい笑おうね!



わたなべ かほ 伽帆ちゃん (時安)
☆親の願い 思いやる 優しい
気持ち いついつまでも



ふくもと えいた 瑛汰ちゃん (福永)
☆親の願い 元気で明るく優し
い子になってね。

おめでとう! 油木高校産業ビジネス科 ごはんDE笑顔プロジェクト 祝準優勝!!

11月13日(日)、宮城県小牛田農林高等学校を会場に「ごはんDE笑顔プロジェクト決勝大会」が行われました。この大会は、全国262チームの高校生が、「地域の食や農」をテーマに、地域を笑顔にするアイデアを考え行動し、そのプロセスや成果を発表するものです。中国・四国ブロック大会優勝チーム『笑顔を広げるミツバチ姫チーム』の3名(2年生 河上さくらさん、大石あす香さん、横山晴美さん)が地域の課題である耕作放棄地の増加、過疎化、高齢化問題を解決していくために、「蜂蜜から広がる交流と地域の再生・花咲く神石高原町をめざして」と題して発表を行い、見事準優勝に輝きました。



発表の様子



遊休農地が花いっぱい 地域との繋がりに感謝

南自治振興会では、今年から地元・養蜂場・油木高校と連携し、遊休農地へレンゲやソバを植えミツバチを飼育し、ハチミツを搾取する取り組みを始められました。「本当に一からのスタート。軌道に乗るまで不安もありましたが、失敗も経験と捉え前に進んでいます」と南自治振興会を担当する集落支援員として3年目を迎えられた横山さん。この取り組みはまだ始まったばかりですが、荒れていた農地にこの春レンゲが咲き景色に変化が生まれ、想像していた以上にこの土地に花が咲くなんて考えたそう。「数年前までこの土地に花が咲くなんて想像もしていなかった。私の力ではなく、みなさんのご協力や支援、また集落支援員制度そのものがあってからこそ」そして、支援員としての活動を通じ、忙しい中でも自身と地域を繋ぐ絆を感じる事ができると言われます。「私の人生はみなさんあっての事。地域へ何かしたいとの想いが、こういった形で貢献できるのが嬉しいです」横山さんは「ミツバチも知れば知るほどおもしろい世界があって、ミツバチがとってもかわいいんですよ」と、よみがえった畑を見つめながら愛情いっぱい笑顔で話されました。



南自治振興会
横山 令子さん